

流域・市町村
特集
下水道事業

環境に優しい奈良の水

令和5年度
推進標語

下水道
みえないところで
フライング

9月10日は下水道の日

「快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全」に必要な不可欠な施設である下水道は、奈良県及び関連市町村において、その整備が積極的に推進されている。県では、昭和45年度に大和川右岸及び大和川左岸北部を対象として、大和川上流流域下水道事業（第一処理区）に着手。続いて、同53年度に大和川左岸南部及び大和川左岸西部を対象に、大和川上流流域下水道事業（第二処理区）、同55年度に宇陀川流域下水道事業、同57年度に吉野川流域下水道事業にそれぞれ着手した。以来、環境に対する県民の意識の高まりもあり、県と関連市町村が一体となって効率的な整備が進められ、令和5年3月31日現在の県全体の普及率は82.8%まで向上し、県民の約8割が下水道を使用できる状況となっている。本紙では、奈良県流域下水道および関連市町村の下水道事業の現況を紹介する。

奈良県の下水道事業の歴史は、昭和45年の大和川上流流域下水道事業着手が始まりである。その後、全県をあげて精力的に取り組んだ結果、現在、4つの浄化センターが供用し、令和5年3月31日現在の下水道普及率は82.8%に達し、県民の約8割が下水道を使用できる状況になっている。また、流域下水道の幹線整備率も98.7%で残線整備率は約2.5kmとなっている。水質汚濁の目立つ大和川を守るため、大和川上流・宇陀川流域下水道の第一処理区は、奈良市、大和郡山、天理市、桜井市、生駒市、香芝市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、広陵町の六市八町を処理区域とし、計画処理面積2万5493ha、計画処理人口約64万9千人とし、大和郡山市

奈良県は、高度経済成長期の急速な都市化により、河川の水質が著しく悪化しました。かつては日本一汚いといわれた大和川の水質は、昭和45年にBOD（生物化学的酸素要求量）で21・4ミリグラム毎リットル（平均値）となりました。

このような状況のもと、奈良県では河川の水質汚濁の防止を図るとともに、快適な生活環境の確保を目指し、

昭和45年度より流域下水道の整備に着手し、昭和49年度に大和川第一処理区（浄化センター）の供用を開始しました。その後、第二、宇陀川、吉野川の3浄化センターを供用開始し、下水道普及率は令和4年度末で82・8%となり、大和川の水質確保するために、保有インフラ等の経営資源を効率的・効果的に運営管理していく事業経営が求められる時代に

移り変わろうとしています。県民の生活に必要な可欠な下水道のサービスを持続的に提供していくためには、自らの経営・資産等の状況を的確に把握し、経営基盤の計画的な強化と財政マネジメント向上等に取り組みしていく必要があります。

奈良県では令和2年度から地方公営企業法の適用を行い、令和4年度末には、奈良県汚水処理事業広域化・共同化計画の策定を致しました。

公営企業会計の導入や広域化・共同化計画の取組により、将来にわたつての持続可能な下水道経営の実現や効率的な運営管理の確立を目指します。

下水道の整備後、大和川の水質改善は顕著であり、平成20年から15年連続で水環境基準レベルをクリアしており、天然アユの遡上やアユの産卵場も確認されている。

下水道水源である室生ダムを抱える宇陀川流域の水質保全のため、昭和55年度から整備を進めている大和川上流・宇陀川流域下水道の宇陀川処理区は、計画処理面積975ha、計画処理人口約1万4000人で、宇陀市を処理区域とし、榛原にある宇陀川浄化センターで汚水の処理を行っています。現在の処理能力は日量1万5549ha、計



昭和45年度より流域下水道の整備に着手し、昭和49年度に大和川第一処理区（浄化センター）の供用を開始しました。その後、第二、宇陀川、吉野川の3浄化センターを供用開始し、下水道普及率は令和4年度末で82・8%となり、大和川の水質確保するために、保有インフラ等の経営資源を効率的・効果的に運営管理していく事業経営が求められる時代に

移り変わろうとしています。県民の生活に必要な可欠な下水道のサービスを持続的に提供していくためには、自らの経営・資産等の状況を的確に把握し、経営基盤の計画的な強化と財政マネジメント向上等に取り組みしていく必要があります。

奈良県では令和2年度から地方公営企業法の適用を行い、令和4年度末には、奈良県汚水処理事業広域化・共同化計画の策定を致しました。

公営企業会計の導入や広域化・共同化計画の取組により、将来にわたつての持続可能な下水道経営の実現や効率的な運営管理の確立を目指します。

下水道の整備後、大和川の水質改善は顕著であり、平成20年から15年連続で水環境基準レベルをクリアしており、天然アユの遡上やアユの産卵場も確認されている。

下水道水源である室生ダムを抱える宇陀川流域の水質保全のため、昭和55年度から整備を進めている大和川上流・宇陀川流域下水道の宇陀川処理区は、計画処理面積975ha、計画処理人口約1万4000人で、宇陀市を処理区域とし、榛原にある宇陀川浄化センターで汚水の処理を行っています。現在の処理能力は日量1万5549ha、計

下水道の整備後、大和川の水質改善は顕著であり、平成20年から15年連続で水環境基準レベルをクリアしており、天然アユの遡上やアユの産卵場も確認されている。

奈良県の下水道普及率及び水洗化率

市町村名	行政面積		住基人口		処理区域面積		下水道普及率		水洗化率	
	ha	(A)人	ha	(B)人	(B)/(A)%	(C)人	(C)/(B)%			
奈良市	27,694	350,318	5,055.0	321,188	91.7%	313,980	97.8%			
大和高田市	1,648	62,707	498.5	38,284	61.1%	34,431	89.9%			
大和郡山市	4,269	83,639	1,497.1	80,771	96.6%	76,808	95.1%			
天理市	8,642	61,448	1,489.0	59,943	97.6%	57,135	95.3%			
橿原市	3,956	119,607	1,401.0	95,889	80.2%	87,418	91.2%			
桜井市	9,891	55,337	710.1	42,498	76.8%	38,287	90.1%			
五條市	29,202	27,839	583.8	16,122	57.9%	12,933	80.2%			
御所市	6,058	23,925	326.0	11,686	48.8%	7,725	66.1%			
生駒市	5,315	117,629	1,252.4	85,398	72.6%	77,653	90.9%			
香芝市	2,426	78,668	852.8	61,124	77.7%	55,315	90.5%			
葛城市	3,372	37,812	1,133.5	37,430	99.0%	35,029	93.6%			
宇陀市	24,750	27,697	722.3	17,094	61.7%	15,462	90.5%			
山添村	6,652	3,181	9.0	193	6.1%	193	100.0%			
平群町	2,390	18,340	203.6	11,032	60.2%	10,310	93.5%			
三郷町	879	22,529	354.4	21,372	94.9%	20,489	95.9%			
斑鳩町	1,427	28,127	269.3	19,567	69.6%	14,583	74.5%			
安堵町	431	7,068	153.4	6,800	96.2%	4,716	69.4%			
川西町	593	8,181	197.4	8,159	99.7%	7,944	97.4%			
三宅町	406	6,557	143.0	6,398	97.6%	6,213	97.1%			
田原本町	2,109	31,589	711.7	31,305	99.1%	28,793	92.0%			
高取町	2,579	6,245	55.8	2,185	35.0%	1,629	74.6%			
明日香村	2,410	5,253	297.9	5,111	97.3%	4,788	93.7%			
上牧町	614	21,518	384.4	21,011	97.6%	19,913	94.8%			
王寺町	701	23,946	341.0	23,352	97.5%	22,622	96.9%			
広陵町	1,630	35,222	795.5	34,683	98.5%	32,482	93.7%			
河合町	823	16,986	407.9	16,847	99.2%	15,783	93.7%			
吉野町	9,565	6,184	94.8	1,877	30.4%	1,609	85.7%			
大淀町	3,810	16,364	483.8	14,744	90.1%	12,872	87.3%			
下市町	6,199	4,679	80.5	1,402	30.0%	1,027	73.3%			
天川村	17,566	1,256	36.0	503	40.0%	485	96.4%			
その他町村	181,084	10,684	-	-	-	-	-			
県計	369,091	1,320,535	20,540.8	1,093,968	82.8%	1,018,627	93.1%			

清流の保全と復活 令和5年幹線整備率98・7%

奈良県は、流域関連市町村の整備より先行して、幹線及び処理場整備は概ね完了している。また、高度処理及び汚泥有効利用も行い、良好な水環境の形成や循環型社会の形成に寄与するとともに、多くの県民の生活環境の向上に努めていく意向である。

総合建設業

株式会社 上村組

KAMIMURA

代表取締役 上村 智津子

本社 〒639-0266 奈良県香芝市旭ヶ丘1-31-1
TEL:0745-76-7575
FAX:0745-77-1288
支店 上牧支店・三郷支店
E-mail kami-1@smile.ocn.ne.jp

「安さ」「安全」を兼ね揃えた新基準の土留工法

Industrial method that achieves safety and low price at the same time

KR工法

ISO 9001/14001/45001 認証取得

株式会社 くらハラ

代表取締役 倉原 定

〒639-1104 奈良県大和郡山市井戸野町124-2
TEL:0743-53-4182 FAX:0743-52-5530
URL http://www.kurahara.co.jp

Dare New Technology

株式会社 木村組

Kimura

代表取締役 木村 隆男

本社 〒639-1058 大和郡山市矢田町771
TEL:0743-53-1059
FAX:0743-53-2526

県・市町村の
都市基盤整備
下水道事業を
推進する企業

水を未来へつなぐ

月島アクアソリューション

TAS

西日本支社長 鈴木 伸尚

〒541-0048 大阪市中央区瓦町3-6-5(銀泉後町ビル)
TEL:06-6229-1331 FAX:06-6229-1415
www.tsk-g.co.jp

ISHIGAKI

株式会社 石垣

代表取締役社長 石垣 真
大阪支店長 安室 要一

本社 東京都千代田区丸の内1丁目6-5
☎03(6848)7900(代)
大阪支店 大阪市淀川区宮原3丁目3-31
☎06(6350)0021(代)
支店 東北・名古屋・中国・九州・四国
工場 坂出

MEIDEN

Quality connecting the next

株式会社 明電舎 関西支社

〒541-0048 大阪市中央区瓦町4-2-14(京阪神瓦町ビル)
TEL:06-6203-5261 https://www.meidensha.co.jp

水を活かし
水に生きる

MARSIMA

株式会社 丸島アクアシステム

取締役社長 島岡 秀和

本社 〒540-8577 大阪市中央区谷町5-3-17 ☎(06)6766-3300
奈良工場 〒639-1122 奈良県大和郡山市丹後庄町300 ☎(0743)59-2121
http://www.marsima.co.jp